

農政建設

農林水産業や道路の建設・管理、ガス・上下水道事業等インフラ整備に関する議案等を審査しています。

注目!

ウッドショック 国産材の安定供給に向けた体制づくりは?

■令和2年度一般会計歳入歳出決算認定



ウッドショックとは

新型コロナウイルス感染症がアメリカの新築住宅需要をもたらし、木材の価格に影響を与えています。世界では、建築用木材需要増の結果、木材価格高騰が引き起こり、その影響が国内にも及んでいます。

問／世界的にウッドショックという状況にあるが、国産材を安定的に供給できる体制づくりの方向性はあるか。
答／急な増産への対応は非常に難しい。ウッドショックにかかわらず、森林保全に引き続き取り組んでいきたい。

■令和2年度一般会計歳入歳出決算認定

雪中貯蔵施設ユキノハコ施設を組み合わせたPRは?



問／ユキノハコは観光対応型の施設であり、物産館とそばどころの3つで相乗効果が生まれると考えているが、施設を組み合わせたPRは行っているのか。
答／当初から道の駅として整備した施設であり、雪室貯蔵の商品を提供、販売するなど、連携した取組を行っている。さらに、コロナ禍収束後はユキノハコの見学者と一緒に各施設を有効活用し、にぎわいの創出につなげていきたい。

(写真) 左から「雪だるま物産館」、雪中貯蔵施設「ユキノハコ」、「雪むろそば家小さな空」が立地する道の駅「雪のふるさとやすづか」

■令和2年度ガス事業会計決算認定及び利益の処分

地中熱融雪設備 昨冬の大雪での効果は?



ガス水道局庁舎の堆雪場に設置された地中熱融雪設備

問／昨冬の大雪における地中熱融雪設備の効果は。
答／自然融雪と比較して16日早く駐車場全面が使用できるようになり、排雪費用約55万円が削減された。一方、昨冬の大雪では地中熱の効果が低減する現象が確認されており、様々な気象条件による検証が必要であることから、令和3年度以降も一定期間検証をしていきたい。